

令和3年9月1日
愛媛大学

— UNGL 学生リーダーズ・サマースクール —

愛媛大学および関西、中・四国の大学生による オンラインリーダーシップ・プログラムの企画・実施！

本プログラムではオンライン時代のコミュニケーションを促進するリーダーシップについて学ぶことを目的とし、西日本各地の大学生が Zoom や oVice 等のツールを用いてグループワークやディスカッションに挑戦したり、遠隔セミナーを受講したりすることができる学びの場を創出します。

このプログラムは、愛媛大学が西日本の 20 を超える大学と連携して取り組む学生リーダーシップ養成事業及び島根大学・山口大学・高知大学・愛媛大学が共同で実施する教育・研究交流事業の一環として実施するものです。プログラムの企画・運営は、愛媛大学と岡山理科大学の有志学生が連携して担当し、教職員がそれをサポートします。

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

【日 時】 令和3年9月2日（木） 10：00～16：00
9月3日（金） 10：00～16：00
9月6日（月） 10：00～16：00

【場 所】 愛媛大学 城北キャンパス 愛大ミュージズ 3階 ミーティングルーム

- 上記は運営担当の教員が使用する本部です。学生は自宅からオンライン接続で参加します。
- 本部担当のリーダー学生たちが当日オンラインでインタビューに回答することが可能です。

【対 象】 連携事業内の大学に所属する学生、教職員

【主 催】 愛媛大学、岡山理科大学、大学間連携共同教育推進事業（UNGL）、
4大学（島根大学・山口大学・高知大学・愛媛大学）間教育・研究交流連絡協議会

- 取材いただける場合は、事前に下記問い合わせ先まで、メールにてご連絡ください。
- お車で越しの際は、正門横警備員室にてお手続の上、来客用駐車場をご利用ください。

- 本プレスリリースは、学生による情報発信を推進するために開催した愛媛大学・学生広報研修会の受講学生・伊澤綾夏が作成を担当しました。

※送付資料4枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室

講師 村田 晋也

TEL：090-8627-3298

Mail：murata.shinya.eb@ehime-u.ac.jp

別紙1 スケジュール

* 一部、時間・内容が変更になる可能性があります。

1日目（9月2日）

- 10:00 開講式
- 10:20 アイスブレイク
- 11:10 企画学生によるプレゼンテーション、グループ・ディスカッション
(12:00-13:00 昼食・休憩)
- 13:00 グループ・アクティビティ
- 15:00 リフレクション
(16:00 終了予定)

2日目（9月3日）

- 10:00 ウォーミングアップ
- 10:30 グループ・アクティビティ
(12:00-13:00 昼食・休憩)
- 13:00 セミナー「エッセンシャル思考を働かせる」: UNGL 教員による講義
- 13:45 3日目に向けたグループ・ワーク
- 14:15 リフレクション
(15:00 終了予定)

3日目（9月6日）

- 10:00 ウォーミングアップ
- 10:20 グループ・ワークの成果物発表
(12:00-13:00 昼食・休憩)
- 13:00 セミナー「レジリエンスとリーダーシップ（仮）」: UNGL 教員による講義
- 14:00 研修全体を総括するリフレクション
- 15:30 修了式
(16:00 終了予定)

別紙2 <会場案内図> 城北キャンパス 愛大ミュージズの位置



別紙3 参考 URL、これまでのサマースクール、企画学生からのコメント

■ 大学間連携共同教育推進事業について

「西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシッププログラム」

<http://ungl.opar.ehime-u.ac.jp/>

■ これまでの学生リーダーズ・サマースクール（対面実施分）

- 令和元年 9 月
<https://www.ehime-u.ac.jp/post-103529/>
- 平成 30 年 9 月
<https://www.ehime-u.ac.jp/post-84548/>

■ 企画学生からのコメント

上記の URL からご参照いただけます通り、新型コロナウイルス感染症の流行前まで当プログラムは、愛媛県内の島嶼部をフィールドに、複数の大学から学生・教職員が集まり、5～6人ずつチームとなって多様な課題を解決しつつリーダーシップやコミュニケーションについて学ぶ屋外研修として実施してきました。

しかし、昨年度からオンラインでの授業や活動が主となっています。そんな経験をしてきた私たちは、オンラインでつながることの難しさをかなり感じており、インターネットを介したコミュニケーションに苦手意識を持っている人も少なくありません。

しかし、After コロナにおいても、オンラインのツールが主流になると考えられるため、オンライン上でのつながり方に対応した新しいスキルやマインドを磨いておくことは必ず必要になると思います。

コロナ禍において同様の学びを得る機会を創出できないか…と検討した結果、昨年度よりオンライン・セミナー形式での実施を選択するに至りました。

そして、県外への移動も制限される中で、他大学の学生と関わることでさらに深い学びも得られると思い、このプログラムを企画しました。

新たな取り組みとして企画しているものですので、スムーズに行くこともそうでないこともあると思いますが、それらも含めご覧いただくことができれば幸いです。